

## 第15回宇宙安全保障部会 議事要旨

### 1. 日時

平成28年9月13日（火） 10:00～12:00

### 2. 場所

内閣府宇宙開発戦略推進事務局大会議室

### 3. 出席者

#### (1) 委員

片岡部会長代理、青木委員、久保委員、白坂委員、鈴木委員、名和委員、山川委員

#### (2) 事務局

高田事務局長、佐伯審議官、松井参事官、行松参事官、高見参事官、佐藤参事官、守山参事官

#### (3) 関係省庁

内閣官房総合海洋政策本部事務局 木下内閣参事官

内閣官房国家安全保障局 吉田内閣審議官 圭秀

内閣官房内閣情報調査室 内閣衛星情報センター 芹澤管理部長

文部科学省研究開発局宇宙開発利用課 奥野企画官

防衛省防衛政策局戦略企画課 末永課長

### 4. 議事要旨

#### (1) 宇宙基本計画工程表改訂に向けた今後の進め方について

宇宙基本計画の工程表に示されている、宇宙システム全体の抗たん性強化に係る検討について、資料に基づき、事務局より説明を行った。当該説明に対して特に質問等はなかった。

#### (2) 海洋政策本部決定事項について

本年7月に総合政策海洋本部において決定された事項について、総合海洋政策本部より説明を行った。当該説明を踏まえ、委員から以下の質問があった。(以下、○質問等、●関係省庁等の回答)

○OMDAのアーキテクチャーを構成するには、多様な情報ソースの中から多様な目的に応じることができるシステムを設計しなければいけない。

○新しく整備する海洋状況表示システムで、海洋情報を一元的に表示するだけでなく、それらをユーザーに合わせてカスタマイズする必要があるが、その点はどこまで事前に検討されているのか。

●ユーザに応じたカスタマイズの在り方については、今年度の委託調査等での検証を行っており、それらの結果を踏まえてシステム設計に反映していく。

#### (3) 宇宙安全保障に関する平成29年度概算要求状況

宇宙安全保障に関する関係省庁による平成29年度概算要求の状況について、内閣情報調査室、文科省、防衛省より説明を行った。当該説明を踏まえ、委員から以下の質問

があった。(以下、○質問等、●関係省庁等の回答)

- 内閣情報調査室が行う、短期打上型小型衛星の実証研究について、その実証の方向性とはどのようなものなのか。
- 今の基幹衛星に何らかの障害が発生する等の事態を想定して、小型の衛星を平成32年を目途に打ち上げ、どれくらい運用に供するかなどを検証することが目的である。
- 文科省の行うSLATSの技術実証について、この技術は安全保障上も重要な可能性を含んでおり、また成功すれば他の産業界へのインプリケーションも大きいものがある。
- 防衛省が実施する超小型地球観測衛星を利用した情報収集の調査研究について具体的にはどのような内容になるのか。
- 民間にいくつかの小型衛星の画像情報を扱っている業者があり、それらの情報を活用して、まずはどのようなことができるかを検証する試みである。

以上